



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 芦森工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3526 URL <https://www.ashimori.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鷲根 成行
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 七澤 一真 TEL 06-6105-1863
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	49,601	6.3	2,294	99.8	2,638	51.3	2,004	606.4
2023年3月期第3四半期	46,660	22.1	1,148	-	1,743	-	283	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 2,845百万円 (290.1%) 2023年3月期第3四半期 729百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	333.78	333.04
2023年3月期第3四半期	47.26	47.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	53,753	21,000	39.0
2023年3月期	51,552	18,452	35.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 20,951百万円 2023年3月期 18,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	50.00	50.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期（予想）	-	-	-	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日発表の「連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	3.6	3,200	48.6	3,400	21.6	2,300	126.0	382.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日発表の「連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	6,056,939株	2023年3月期	6,056,939株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	51,603株	2023年3月期	50,838株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	6,005,662株	2023年3月期3Q	6,005,173株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、自動車安全部品事業において、自動車メーカー各社の販売が回復基調にあり、機能製品事業においても主力である管路更生工事の需要も引き続き堅調で、全般的に良好な状況にあります。

しかしながら、自動車安全部品事業においては、一部の顧客および地域で生産調整の影響が生じるなど、予断を許さない状況が続いております。また、管路更生工事においても、原材料費の高止まりに加えて、人件費の上昇により工事要員の確保が困難な状況が続き、先行き不透明な環境となっております。

このような情勢のなか当社はグループを挙げた品質の向上と維持に取り組み、生産性向上の推進とともに、適正な収益の確保を図り、収益力の向上に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は49,601百万円（前年同期比2,941百万円の増収）となり、第3四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。損益面についても、営業利益は2,294百万円（前年同期比1,146百万円の増益）、経常利益は2,638百万円（前年同期比894百万円の増益）となり、いずれも第3四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,004百万円（前年同期比1,720百万円の増益）となりました。

以下、各事業セグメント別に概況をご報告申し上げます。当社は、事業本部制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

①自動車安全部品事業

当第3四半期連結累計期間では、一部の顧客および地域で生産調整の影響がありましたが、円安効果と原材料費の市況変動分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連、エアバッグ関連において前年同期比増収、内装品関連では前年同期並みとなりました。この結果、当事業の売上高は37,297百万円（前年同期比3,533百万円の増収）となりました。

増収に伴い損益面も大幅に改善し、営業利益は1,756百万円（前年同期比1,300百万円の増益）となりました。引き続き、為替変動や原材料費の上昇、生産変動のリスクはありますが、固定費削減、経費削減などの収益改善施策を進めてまいります。

当社は、自動車安全部品事業における協業強化を目的として、豊田合成株式会社と新たな資本業務提携契約を2023年11月30日付で締結しました。同社との協業を加速し、エアバッグとシートベルトのセット開発による拡販、部品の共同調達、生産拠点を含めたりソースの有効活用等を具現化し、収益拡大に繋げてまいります。

②機能製品事業

バルテム関連の売上高は6,532百万円（前年同期比1,468百万円の減収）となりました。前年度上半期は前々年度から繰り越された大型工事があったことから、対前年同期比で減収となりましたが、期中における受注は好調に推移しており、期末に向けて挽回をはかります。

防災関連の売上高は1,715百万円（前年同期比504百万円の増収）となりました。上半期に石油コンビナート向大口径ホースシステムの納入があった他、消防用ホース等の販売価格改定も寄与しました。

産業資材関連の売上高は4,032百万円（前年同期比372百万円の増収）となりました。全般に市況は依然弱いものの、輸送用トラックの生産台数増加に伴い、物流関連の売上高が回復してきており、増収となりました。

この結果、当事業の売上高は12,280百万円（前年同期比591百万円の減収）となり、営業利益につきましても1,058百万円（前年同期比89百万円の減益）となりました。

当事業においては、老朽化した管路の更生需要を確実に取り込み、防災関連資機材や産業資材取扱製品の積極的な拡販活動に引き続き取り組んでまいります。

③その他事業

当事業の売上高は24百万円、営業利益は10百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は53,753百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,200百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加1,491百万円、売上債権の減少587百万円、棚卸資産の増加2,100百万円等が影響したものです。

負債は32,753百万円であり、前連結会計年度末に比べ347百万円減少しました。これは主に、仕入債務の減少723百万円、長期借入金の減少685百万円、短期借入金の増加839百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加263百万円等が影響したものです。

純資産は21,000百万円であり、自己資本比率は39.0%（前連結会計年度末は35.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2024年2月9日）発表の「連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,423	5,915
受取手形、売掛金及び契約資産	13,105	12,433
電子記録債権	1,653	1,737
商品及び製品	1,977	2,784
仕掛品	1,376	1,464
原材料及び貯蔵品	8,008	9,212
その他	2,015	1,371
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	32,552	34,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,289	5,527
機械装置及び運搬具（純額）	3,077	3,092
工具、器具及び備品（純額）	1,283	1,232
土地	5,790	5,842
リース資産（純額）	56	52
建設仮勘定	312	134
有形固定資産合計	15,810	15,881
無形固定資産		
のれん	598	476
その他	274	307
無形固定資産合計	872	784
投資その他の資産		
投資有価証券	1,326	1,506
繰延税金資産	366	136
退職給付に係る資産	299	317
その他	341	233
貸倒引当金	△17	△15
投資その他の資産合計	2,317	2,178
固定資産合計	19,000	18,843
資産合計	51,552	53,753

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,411	6,331
電子記録債務	5,102	5,458
短期借入金	2,254	3,094
1年内返済予定の長期借入金	2,614	2,877
リース債務	18	14
未払金	1,095	1,245
未払法人税等	267	124
未払消費税等	393	133
賞与引当金	568	564
役員賞与引当金	24	—
製品保証引当金	112	54
その他の引当金	70	21
デリバティブ債務	—	192
その他	1,566	1,504
流動負債合計	21,501	21,618
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	6,429	5,743
リース債務	50	57
退職給付に係る負債	1,995	2,022
製品保証引当金	10	3
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	—	193
その他	84	84
固定負債合計	11,599	11,134
負債合計	33,100	32,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	1,632	1,632
利益剰余金	7,985	9,689
自己株式	△148	△150
株主資本合計	17,857	19,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	405
繰延ヘッジ損益	—	△192
為替換算調整勘定	194	1,087
退職給付に係る調整累計額	95	90
その他の包括利益累計額合計	556	1,391
新株予約権	20	24
非支配株主持分	17	23
純資産合計	18,452	21,000
負債純資産合計	51,552	53,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	46,660	49,601
売上原価	40,568	41,953
売上総利益	6,092	7,647
販売費及び一般管理費	4,943	5,353
営業利益	1,148	2,294
営業外収益		
受取利息	8	14
受取配当金	28	33
受取賃貸料	31	34
為替差益	573	368
助成金収入	56	23
その他	97	84
営業外収益合計	796	559
営業外費用		
支払利息	122	152
持分法による投資損失	43	35
その他	35	27
営業外費用合計	201	215
経常利益	1,743	2,638
特別利益		
投資有価証券売却益	—	134
土地売却益	4	—
特別利益合計	4	134
特別損失		
減損損失	662	—
特別損失合計	662	—
税金等調整前四半期純利益	1,085	2,772
法人税、住民税及び事業税	284	390
法人税等調整額	517	371
法人税等合計	801	762
四半期純利益	284	2,010
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	283	2,004

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	284	2,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	139
繰延ヘッジ損益	△149	△192
為替換算調整勘定	507	859
退職給付に係る調整額	9	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	54	33
その他の包括利益合計	445	834
四半期包括利益	729	2,845
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	728	2,839
非支配株主に係る四半期包括利益	0	6

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	33,763	—	33,763	—	33,763	—	33,763
バルテム	—	8,000	8,000	—	8,000	—	8,000
防災	—	1,210	1,210	—	1,210	—	1,210
産業資材	—	3,659	3,659	—	3,659	—	3,659
その他	—	—	—	21	21	—	21
顧客との契約から生じる収益	33,763	12,871	46,635	21	46,656	—	46,656
その他の収益	—	—	—	3	3	—	3
外部顧客への売上高	33,763	12,871	46,635	25	46,660	—	46,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	33,763	12,871	46,635	25	46,660	—	46,660
セグメント利益	456	1,148	1,604	9	1,614	△466	1,148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△466百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

自動車安全部品事業セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては662百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	37,297	—	37,297	—	37,297	—	37,297
パルテム	—	6,532	6,532	—	6,532	—	6,532
防災	—	1,715	1,715	—	1,715	—	1,715
産業資材	—	4,032	4,032	—	4,032	—	4,032
その他	—	—	—	20	20	—	20
顧客との契約から生じる収益	37,297	12,280	49,577	20	49,597	—	49,597
その他の収益	—	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	37,297	12,280	49,577	24	49,601	—	49,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,297	12,280	49,577	24	49,601	—	49,601
セグメント利益	1,756	1,058	2,815	10	2,825	△531	2,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△531百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。